

たじみん昼話 19

チャンスはかならずやってくる！

コメディアンであり演出家でもあるタレントの萩本欽一さんは、番組の稽古に大変な時間をかけることで有名だ。弟子と呼ばれる人や共演者が語るところによると、5分のコントでもクオリティが低いと感じたら、10時間もかけることはざらだったそうだ。

そんなハードな現場でも、周囲が萩本さんについていったのは、彼の人間性はもちろんだが、数々の言葉掛けが大きいとある共演者は語っている。その中でも印象的なものが次の言葉で、周囲の皆さんは、これを思い出しながら、どんなに追い込まれても歯を食いしばりながら乗り越えていけることができたのだそうだ。

「辛いなあ」というのは、
大きな運をつかむ「予兆」だと思うなー。
そこを逃げずに踏ん張ることが
大事なんだあ。

学習も、部活動も、その他いろいろな生活の中においても、辛いことはやってくる。でも、あきらめなければ、必ずチャンスはやってくるということだ。

がんばれ、多治高生。そして、卒業生。